

国際化市民フォーラム in TOKYO



多文化共生社会の推進

平成 27 年 4 月 1 日現在、都内の外国人登録者数は約 42 万人で全体の約 3%を占めています。経済のグローバル化、少子高齢化が進展する中で、在住外国人の増加と定住化の傾向は今後ますます進んでいくと考えられます。

このような在住外国人を取り巻く課題や問題点、国際協力の在り方などについて、国際理解を促進し問題解決への認識を深める機会とします。

● **開催日時** 平成 28 年 **2 月 21 日** (日)

午前分科会 10:00 ~ 12:30
午後分科会 13:30 ~ 16:00

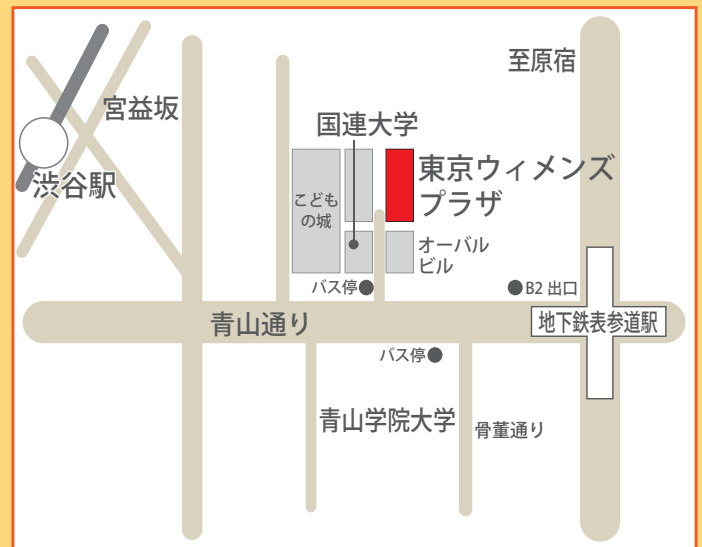
● **開催場所** 東京ウィメンズプラザ
(渋谷区神宮前 5-53-67)

● **定員** 各分科会 50 名

● **申込方法** 裏面をご覧ください。

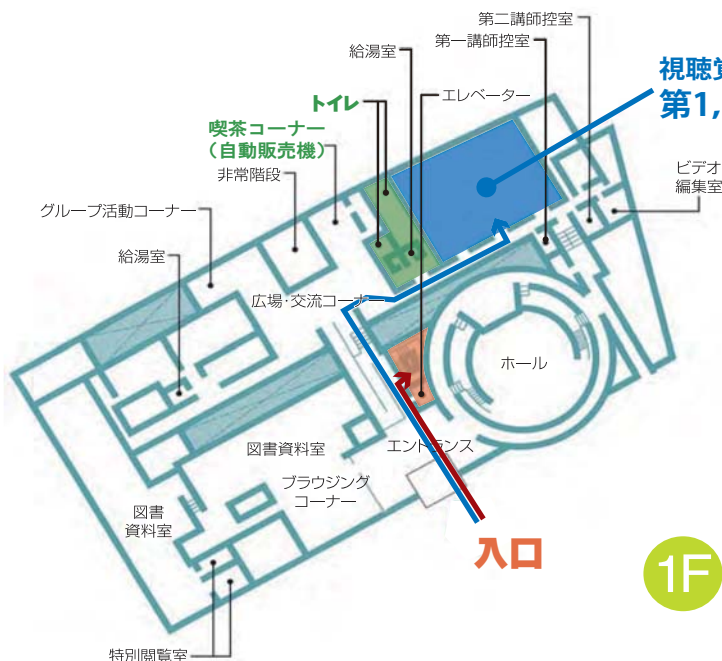
● **締切** 平成 28 年 2 月 16 日 (火)
※定員となり次第、締め切らせていただきます。

● **参加費** 無料

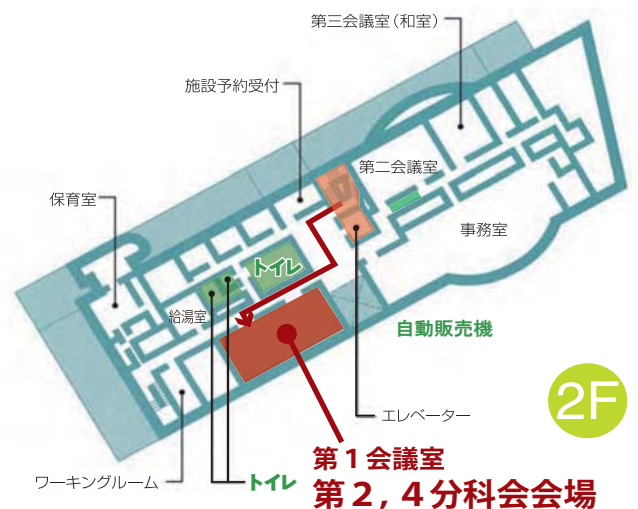


交通案内

渋谷駅 徒歩 12 分
東京メトロ 表参道駅 徒歩 7 分
都バス：(渋 88 系統)
渋谷駅からバス 4 分 青山学院前バス停下車徒歩 2 分



視聴覚室 第1, 3分科会会場



第1会議室 第2, 4分科会会場

世界と日本の難民問題から考える多文化共生社会

世界や日本で起こっている難民問題から多文化共生社会の推進を考えます。
難民問題に最前線で取り組んでいる方々からのお話から、「難民の現状は?」「難民の定義って何?」など、難民問題の今を学びます。

また、パネルディスカッションでは、多文化共生社会の推進に向け、難民問題に対し市民の私たちに何ができるかを考えていきます。

基調講演

宮澤 哲氏 UNHCR駐日事務所 法務部

事例紹介

堀江 良彰氏 (特活) 難民を助ける会 事務局長
石川 えり氏 認定NPO法人 難民支援協会 (JAR) 代表理事
JICA中東・欧州部職員 } 予定
ヨルダン派遣青年海外協力隊員OV }

モデレーター

齋藤 斐子氏 (特活) 国際協力NGOセンター 広報・渉外グループ

多文化共生社会の地域づくり ~都と多様なセクターとの連携に向けて~

東京都は現在、多文化共生推進に関する指針の策定に向け、検討を進めているところです。
この指針では、東京における在住外国人の現状と課題を踏まえた上で、多文化共生推進のための基本的な考え方や今後の取組みの方向性、また区市町村をはじめ企業や民間支援団体等の役割についても示される予定です。

今後策定される指針に基づき、都と区市町村や企業など多様なセクターとの連携による新たな地域づくりに向け、それぞれの立場からどのように取り組むべきか考えます。

基調講演 コーディネーター

山脇 啓造氏 明治大学 国際日本学部 教授

パネリスト

山崎 利行氏 東京都生活文化局都民生活部多文化共生推進 担当課長
山崎 雅代氏 (株)ローソン 人事部人事企画 アシスタントマネージャー
高野 正樹氏 大田区国際都市・多文化共生推進課長
岡本 麗氏 (中国) 八王子国際協会 理事

お知らせ

平成27年度 国連普及啓発シンポジウム

共・学・繋 違いを越えて途上国で活躍するあなたに求められるスキルは?

年齢を問わず、国際協力や国際ボランティアに関心を持つ人が増えていますが、その現場では宗教や歴史、政治や文化などお互いの違いを越えて、こちらの考え方や強みを伝えていく事や、人を育て、共に学び、その学びを今度は日本の社会に繋げる姿勢や能力が求められます。特に必要とされるのが、コミュニケーションやライカビリティ(好感を持ってもらう能力)に関するスキルです。

そこで今回は、第一線で活躍しているパネリストの方々を迎え、ご自身の経験や培ってきたスキルについてお話いただき、皆さまの学びの一助にしたいと思います。

3 コミュニケーションの充実 ～始めよう！やさしい日本語で情報発信を～

地域で日本人と外国人が共に安心・安全な生活を目指す多文化共生社会を進める中で、コミュニケーションや情報提供を通してお互いが理解し合うことの重要性は当然なことです。

自治体や公的機関等では、外国人に向けた情報の多言語化が進んでいます。一方災害時の対応等については多言語に合わせ「やさしい日本語」での情報提供が各地で検討され、実践されています。

第3分科会では、生活情報を「やさしい日本語」で発信することに焦点を当て、基調講演で概要を説明し、「やさしい日本語」の実践に向け、現在取り組んでいる事例の報告、さらにワークショップを通して日本語の原文を「やさしい日本語」にリライトする体験をしていきます。

基 調 講 演

中山真理子氏 亜細亜大学 講師

事 例 紹 介

飯村 亮祐氏 横浜市市民局広報相談サービス部広報課 職員
梶村 勝利氏 東京日本語ボランティア・ネットワーク 代表

モ デ レ ー タ ー

遠藤由紀夫氏 中野区国際交流協会 常務理事

第1会議室 (2F)

4 地域における多文化共生社会の充実 (自治体と国際交流協会の協力)

多文化共生社会の実現を目指して、自治体と国際交流協会が横につながり「協働」や「連携」による施策の実施が求められています。

自治体の国際化政策の一環として設立された国際交流協会は、市民と自治体をつなぐ中間組織として、コーディネーターの役割を果たしてきましたが、これからは両者が多文化共生社会の実現に向かって、多くの分野で協働・連携することが求められます。

当分科会のパネルディスカッションでは「防災」「外国人相談」「ボランティアとの関わり」について焦点を当てながら、その活動実態や抱える問題点などについて討論し、皆さんとともに意見交換します。

基 調 講 演 コ ー デ ィ ネ ー タ ー

高橋 伸行氏 船橋市市長公室秘書課 国際交流室 室長
(特活) 多文化共生マネージャー全国協議会理事

パ ネ リ ス ト

えびすだに 戎谷 昭浩氏 町田市文化スポーツ振興部文化振興課 主事
あまひろ 今井 良一氏 中野区国際交流協会 事務局長
杉田 理恵氏 (中国) 東村山市生活文化課多文化共生係 相談員

※事前申込が必要です。
申込締切1月28日(木)

第1部 シンポジウム 第2部 映画上映「バベルの学校」

- 開催日時：平成28年1月30日(土) 13:00～16:30
- 場 所：東京ウィメンズプラザ ホール (B1F)
- 入場無料
- お申込方法：下記いずれかの方法でお申込ください。
*インターネット：[国連協会 東京都](#) 専用のお申込フォームに入力のうえ送信してください。
*電 話：03-5294-6542 (平日9:00～17:15)
*FAX：03-5294-6540

詳しくはホームページを是非ご覧ください

国際化市民フォーラム in TOKYO

参加申込書 (FAX 受付用)

- ▶ 参加申込方法 東京都国際交流委員会へいずれかの方法でお申込みください。
- 下記ホームページの申込フォームに必要事項を入力の上、送信してください。

東京都国際交流委員会 

- FAX 受付：03-5294-6540
- 電話受付：03-5294-6542 (平日 9:00 ~ 17:15)

- ▶ 定員になり次第、締切とさせていただきます。
- ▶ 定員を超え、お申込みをお受けできない場合はご連絡します。
- ▶ この情報は、フォーラム以外の目的には一切使用いたしません。

締切
2月16日(火)

荒天の場合中止となることがありますので、連絡が取れる電話番号、または E-mail の記入をお願いします。

ふりがな 氏 名	所 属
E-mail または TEL	

*希望分科会 (参加を希望する分科会に✓をつけてください。)

午前分科会

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------------|---------------|-----------|
| <input type="checkbox"/> 1 | 世界と日本の難民問題から考える多文化共生社会 | 10:00 ~ 12:30 | 視聴覚室(1F) |
| <input type="checkbox"/> 2 | 多文化共生社会の地域づくり ~都と多様なセクターとの連携に向けて~ | 10:00 ~ 12:30 | 第1会議室(2F) |

午後分科会

- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------------|---------------|-----------|
| <input type="checkbox"/> 3 | コミュニケーションの充実 ~始めよう!やさしい日本語で情報発信を~ | 13:30 ~ 16:00 | 視聴覚室(1F) |
| <input type="checkbox"/> 4 | 地域における多文化共生社会の充実 (自治体と国際交流協会の協力) | 13:30 ~ 16:00 | 第1会議室(2F) |

事務局
東京都国際交流委員会
〒101-0023 千代田区神田松永町 17-15 大野ビル 3F
TEL: 03-5294-6542
FAX: 03-5294-6540
URL: <http://www.tokyo-icc.jp>